# 御在所の風

2月
志布志市立田之浦小学校
学校だより　文責：　榊　宏三
令和３年２月２２日発行

教育目標　「豊かで，たくましい体をもち，自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」
校　　訓　「やさしく（キラキラ）　かしこく（ハキハキ）　たくましく（キビキビ）」
めざす子どもの姿　「思いやりの心をもち，相手を尊重できる子」
「自ら学び，考え，粘り強く学習を続ける子」「命の大切さを知り，自ら鍛える子」

## 校長室より

## 思いやりのある子どもたちに！！

### 人とＡＩ（人工知能）との共存

校長　榊　宏三

「１月は行く」「２月は逃げる」「３月は去る」というように，時は早く過ぎていきます。もうすぐ３月になります。子どもたちは，手洗いやうがい，マスク着用などを徹底しながら，元気に学校生活を送っています。

さて，ここ数年のＩＴ（情報技術）の進歩は，すごいものがあります。特に，ＡＩ（人工知能）の進歩には，驚かされます。将来的にはほとんどの仕事は，ＡＩがこなすようになるとまで言われています。学校教育の分野でも，ＩＴ機器の導入が進んでいます。志布志市でも，タブレット端末が一人一台ずつ配布されます。また，校内ＬＡＮも整備され，どの教室でもインターネットに接続できるようになっています。本校では，１年生からタブレット端末で漢字の筆順を確かめたり，自分のノートをタブレット端末に取り入れてモニターで発表したりしています。

他都市の学校では，すでにＡＩによる個別指導を行っている学校もあるそうです。全員が同じ黒板を見て学習する一斉学習においては，学習速度に対応しきれない現実があります。その点ＡＩを活用すれば，すぐに理解できる人には，どんどん新しい課題を与えることができるし，なかなか理解できない人には，スモールステップで理解できるようにすることもできます。そう考えるとＡＩ先生で十分じゃないかとも思えてしまいます。もしかすると，学校に来なくても学習が成立する時代がくるのかもしれないとまで考えてしまいます。

私は，人を育てるのは人であるべきという考えをもっています。学校という小さな社会の中で，人と学び合いながら育つべきだろうと考えます。たとえ，ＡＩが感情をもつような時代がきたとしても，人の感情とは全く別のものであることを忘れないようにしないといけないのではないでしょうか。便利で，有効に活用できるところは，しっかりと取り入れていき，人でしかできないところと区別しながらＡＩと共存していくことが大切なのだろうと思います。

ＡＩ先生とは，夢のような話ですが，もうそこまで来ているような気がします。教育におけるデジタル化がどんどん進みそうで，学校現場が振り回されないように地に足をつけた教育を目指したいと考えます。